

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
アニメーション制作 6											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	内田 順久			実務経験	有	職種	プロデューサー/アニメーター				
担当教員紹介											
アニメーター、キャラクターデザイナー、作画監督。 代表作に『機動戦士 Z ガンダム』、『獣神ライガー』など他多数。											
授業概要											
この授業での履修目的はアニメーション作画部門・動画職において、あらゆる生物・無機物・自然表現の動画を軌道線を踏まえて作成できることを目的とする。そのうえで1本の線から肌・木材・鉄などの描き分けるクリーンナップ技術の習得と物体運動の軌道線を空間表現できるよう知識と技術の習得を目指す。											
到達目標											
動画職に求められるクリーンナップの精度を高め、プロまたはプロに準ずる段階にまで高める。2次元空間にて立体物を動かすことができ、人間・動物・自然物など細かい部分まで正確に運動描写を表現することが出来るよう知識と技術を習得する。											
授業方法											
実際にアニメーション制作を通して、行う授業内容は下記の2点。 ・毎週制作課題を配布し、作業の後添削。 ・課題とは別軸に共同作業をさせ、職種に求められる責任や、全体の流れを学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題 平常点	50％ 50％	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価。 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
履修上の注意											
毎回別の課題が用意されるため、遅刻・欠席をしないよう心掛けること。 授業内容が課題・添削・提出のため極力自身から積極的に先生へ質問・提出をするよう心掛けること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業課題を配布。必要に応じて映像資料も使用。											
回数	授業計画										
第1回	トレスの実践・キャラクター描写課題を実施・提出										
第2回	基礎画力向上を目的としたキャラ・背景描写										
第3回	動画・トレス技術の習得技量確認										
第4回	振り向き動画による軌道・比率の考察										
第5回	キャラクター動画による動き・軌道線の考察										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
アニメーション制作 6	
第6回	キャラクター動画による動きと影指定
第7回	動画作業の確認・課題提出・ポートフォリオ指導
第8回	透視図法で描かれたキャラクターの動画作成
第9回	波の動きや自然物の動きと考察
第10回	自然物の動画作成・課題提出
第11回	髪の毛の動き（影指定あり）動画作成
第12回	髪の毛の動き動画提出
第13回	爆発や煙の動画作成 1
第14回	爆発動画課題提出
第15回	これまでの技術を用いてアクション動画の作成・提出